

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 6月 4日 更新

事務事業名		市営住宅整備事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健幸	所属部	都市建設部	課長名	坂本 強
	施策	16	住環境の充実	所属課	都市計画課	担当者名	前田 圭亮
	業務分野	55	公営住宅の充実	所属班	建築住宅班	(内線)	5266
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	公営住宅法 合志市営住宅条例
	一般	8	5	2	11646		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (5 ~ 11 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	公営住宅長寿命化計画等に基づき、合生住宅を令和9年度までに建替える。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	
【業務の流れ】	令和5・6・7年度に基本・詳細設計、令和8・9年度に合生住宅の解体、造成工事及び本体工事、令和10年度以降に竹迫・西沖住宅の解体
【主な予算費目】	委託料、工事請負費

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

公営住宅等長寿命化計画に合わせ、合生住宅建替に伴う基本設計を実施した。
【基準に達しなかった理由】基本設計及び実施設計を行う契約をし着手していたが、近年の急激な資機材及び労務費の高騰もあり、当初整備予定額と大きく差異が生じ、コスト縮減の検討が必要となった。その検討に時間を要したため、減額の変更契約を行い実施設計を次年度に行うこととしたため

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

合生住宅建替の詳細設計及び現入居者の移転

③予算の主な増減の理由

合生住宅建替の詳細設計に伴う委託費の増

成果指標

ア 優良な管理住宅戸数の割合

(単位)

データ取得方法

⇒イウ

%

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	76.8	74.2	74	69.35	74	74	74	74
事業費	国庫支出金	千円		1,204	12,555	252,000	36,000	270,000	21,393
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円			4,400	308,000	44,000	330,000	23,300
	その他	千円		965					
	繰入金	千円							
一般財源	千円			1,400	10,946				2,847
(A) 事業費計	千円	0	0	3,569	27,901	560,000	80,000	600,000	47,540

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)